確定版

令和４年２月25日　秦野市上下水道局経営総務課

新型コロナウィルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について　㉓

令和４年１月検針分（主に11・12月使用分）

用途別の影響

令和４年１月分の検針データを前年（コロナ後）及び前々年（コロナ前）と比較すると、主に家庭用となる 20 ㎜以下の口径は、前年度との比較では、それぞれ水量は約18,000 ㎥、1%、料金は約 190 万円、2%の増となりました。また前々年度との比較では、水量は約1,000㎥の増となったものの、料金は約10万円の減となりました。

主に業務用となる25㎜以上の口径は、前年度との比較では、それぞれ水量は約9,000㎥、5%、料金は約220万円、5%の増となりました。また前々年度との比較では、水量、料金ともに微増となりました。

全口径の合計は、前年度との比較では、それぞれ水量は約27,000 ㎥、2%、料金は約410 万円、2%の増となり、前々年度との比較では水量は微増、料金は微減となりました。昨年を上回るのは、7月検針以来となり、コロナ前の一昨年１月とほぼ同じ状況となりました。

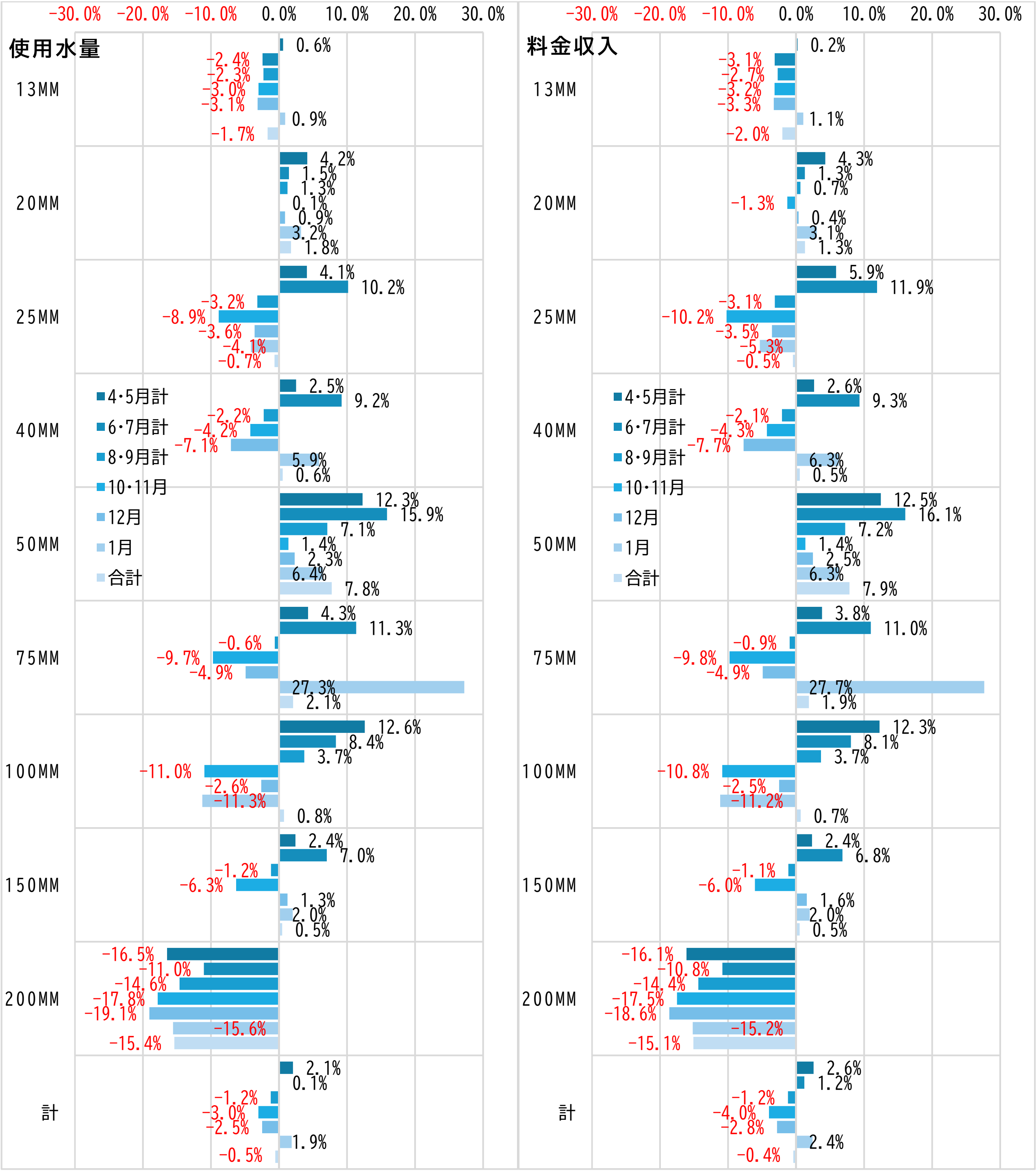
検針年	区分	1月検針分（11・12月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1	水量（㎥）	1,268,302	215,384	1,483,686
	金額(税抜き：円)	125,798,365	48,590,360	174,388,725
	供給単価(円)	99.19	225.60	117.54
R2	水量（㎥）	1,251,138	206,059	1,457,197
	金額(税抜き：円)	123,807,725	46,447,310	170,255,035
	供給単価(円)	98.96	225.41	116.84
R3	水量（㎥）	1,269,039	215,459	1,484,498
	金額(税抜き：円)	125,691,540	48,695,570	174,387,110
	供給単価(円)	99.04	226.01	117.47
対R2増減（コロナ後との比較）	水量（㎥）	17,901	9,400	**27,301**
	増減率	1.43%	4.56%	**1.87%**
	金額(税抜き：円)	1,883,815	2,248,260	**4,132,075**
	増減率	1.52%	4.84%	**2.43%**
	供給単価(円)	0.09	0.60	**0.63**
	増減率	0.09%	0.27%	**0.54%**
対R1増減（コロナ前との比較）	水量（㎥）	737	75	**812**
	増減率	0.06%	0.03%	**0.05%**
	金額(税抜き：円)	-106,825	105,210	**-1,615**
	増減率	-0.08%	0.22%	**-0.00%**
	供給単価(円)	-0.14	0.41	**-0.07**
	増減率	-0.14%	0.18%	**-0.06%**

口径別の対前年変動率

口径別の対前年変動率を見ると、使用水量、料金ともに、13 ㎜、25 ㎜、200 ㎜を除く口径で増となりました。

確定版

令和4年2月25日　秦野市上下水道局経営総務課



※料金収入は、減額措置の影響を差し引いています。

考察

主に家庭用の20㎜以下は8か月ぶり、主に業務用の25㎜以上は5か月ぶりの前年比増となりました。昨年同月は、新型コロナ感染症の拡大による業務用の減少が続く中で、家庭での需要増が一段落していたころであり、今年はそれを上回り、ほぼコロナ前の一昨年並みとなりました。

料金収入の3分の1を占める25㎜以上をみると、25㎜、100㎜、200㎜で減少が続くものの、他の口径はすべて昨年を上回っています。経済活動がコロナ前と同程度に回復しているとみることもできますが、第6波の影響が検針結果に表れるのは来月以降であり、慎重な見極めが必要です。